

自己実現 自主自立 本物の笑顔のために

東の風



平戸市立田平東小学校
学校便り

No.53

やさしく
かしこく
たくましく

平成29年10月16日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

143 10月6日は、本校の誕生日(創立記念日)でした!



学校沿革史によると、明治7年10月6日、田平円通寺の一部を校舎として「亀淵(きえん)小学校」として創立され、11年に現在地に移転。19年7月に「田平小学校」に、その後、「田平尋常高等小学校」、「田平村立国民学校」「田平村立田平小学校」と改称され、昭和29年に「田平町立田平東小学校」となりました。その後、市町村合併により平成17年10月より、現在の「平戸市立田平東小学校」と改称されてきました。

近代教育の始期について調べると次のように記されています。

1872年(明治5年)8月3日の**学制発布**により始まった日本の近代教育制度において、**初等教育**は当初、**小学校尋常科**という名称の学校で行われ、1873年(明治6年)1月15日に設置された**官立の東京師範学校附属小学校**(現在の筑波大学附属小学校)を皮切りに、1875年には、ほぼ現在並みの約2万4千校の小学校が全国各地に設置された。

つまり、近代教育制度のほぼ最初の時期から、本校はスタートしており、その創立以来143年もの長きに渡り、名称や場所、校舎を替えながら、田平東地区の教育・文化の拠点、地域の皆様の拠り所として地域の皆様に愛され、数多くの子ども達を見守り、育み、多くの卒業生を送り出してきた歴史と伝統ある学校であるということです。

大きなクスノキに見守られながら、校舎や校庭を田平東の伝統、魂の薫りを乗せた校風という風が爽やかに通り抜けていきます。子ども達を見守るこの校舎・校庭には、ふるさとを想い、学校を愛した数多くの先輩方や地域の方々、仲間と共に過ごした数々の想いや流した汗、幾多の苦難、そして大切なかけがえのない時間が積み重ねられているであろうと思います。



私の前任校も本校と同じ、明治7年の創立でした。残念ながら一昨年、平成27年度末をもって141年の長い歴史に幕を下ろし、閉校となりました。(私が最後の校長となりました。)

閉校に向け、保護者の皆様、そして地域の方々と共に閉校実行委員会を立ち上げ、最後の一年間は母校に対する敬意と感謝の気持ちを胸に、これまで培ってきた自信と誇り、そして新しい未来への希望を胸に子ども達が堂々と巣立terようにと一つ一つの教育活動をより一層充実させ、閉校に向けた様々な活動に取組みました。

その中で感じたことは、**学校に対する人々の「思い」**でした。子どもの時、自分自身が通った方。自分の子どもや孫を通わせた方。地域住民として関わられた方。学校職員として関わった方。立場や関わり方はそれぞれですが、**学校に対する強い思い。それは愛情であり、愛着であり、そして誇り**であったように思います。

創立以来、保護者、職員、地域の方々、これまで数え切れないほど多くの方々、学校のために尽力されてこられました。どの時代においても、そこには間違いなく、子ども達の輝きを感じる光景と、学校と地域の濃密な関わり合い、そして強い絆があったのだと思います。保護者の皆様、地域の皆様と学校、職員が一体となった、まさに「故郷の学校」としてのあるべき姿がそこにはあり、ずっと紡ぎ、紡がれ継承されてきたのだということを強く感じたものでした。そして、そのことに恥じない閉校の一年としようと強く思ったものです。

本校、この田平東小学校においても143年という長い長い歴史の中で、きっと同じように数え切れないほど多くの方々、力を合わせ、思いを一つにしながら学校のために尽力されてこられたのだらうと思います。いつの時代も、保護者の皆さまや地域の皆様方の溢れるほどの愛情を浴びて生まれ、成長してきた子ども達であったらうと思います。

平成29年10月6日。また新しい第一歩が、歴史の1ページがスタートしました。これまで関わってこられた諸先輩方からの襁を引き継ぎ、本校の伝統、校風、魂を受け継ぎながら、この田平東小学校の歴史と伝統の上に、これからも一日一日、一つ一つ、また新しい歴史を作り、積み上げていきます。

これからも子ども達を、そして田平東小学校をよろしく願いいたします。